

**核兵器禁止協約発効  
核兵器廃絶ネットワークみやぎ発足  
1周年記念イベント**

日時▶2022年1月22日(土)  
13時半～15時半(開場13時)  
会場▶仙台市福祉プラザ  
2階ふれあいホール  
主催／核兵器廃絶ネットワークみやぎ  
問い合わせ：022-243-2158

私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です

# みやぎ民医連

発行所 宮城県民主医療機関連合会  
仙台市青葉区木町通1-8-18  
〒980-0801 田村ビル5F  
TEL 022-265-2601  
FAX 022-263-8266  
e-mail:dai@miyagi-min.com  
発行人 坂田 匠  
1日・15日 月2回発行 1部50円

## 全国青年ジャンボリーに参加して 起きている問題を他人事ではなく、 自分で調べ考えていくことが大切

みやぎ保健企画 事務 小田嶋 花織

11月26日、27日にZOOMで開催された全国青年ジャンボリーに参加しました。私は今年度入職したため、全国青年ジャンボリーの参加は初めてでしたが、全国各地の多様な職種の方と意見交換をすることができ、大変貴重な経験になりました。



1日目は、フォトジャーナリストの安田菜津紀さんから、世界の貧困・難民問題等の話をお伺いしましたが、どの事例も、本当に今起きていることなのかと耳を疑う内容ばかりでした。その中でも

に収容されていたスリランカ人の女性が死亡した事件の詳細を聞き、日本国内でも人種差別による死亡事例が起きていること、そして在留管理局側がその事実を隠蔽しようとしていたことを知り驚きました。人種差別問題とは無縁のように思える日本国内でもこうした被害は起こっており、死者を出すほどの残忍性と問題性を孕んでいることから、決して他人事とは捉えてはいけなく、誰もが知っておくべき問題であると思いました。

2日目にはテーマ別セッションを行いました。私たちの班は福島第一原発事故から10年を迎えた福島県の現状について、浜通り医療生活協同組合の工藤史雄さんからお話を伺いました。講演を聞いて、福島県での原発事故はまだまだ終わりが見えていない問題だと感じると同時に、真の復興とは何かを深く考えるきっかけになりました。

テレビなどのメディアで取り上げられる震災関連の話は、どれも復興に向かって順調であるかのようだが、内容はかなりです。宮城民医連の宮沼弘明会長が、生活や労働

ような内容はかなりですが、実情はそうではありません。福島第一原発の件も、汚染水や汚染物質の行方、終わらない風評被害など、解決できていない問題は山積みになっています。目に見える部分だけを上げて復興という言葉で美化させるのではなく、今もなお水面下で起きている問題に真摯に向き合っていくことが重要であると思いました。

今回学んだ内容だけではなく、今世界で起きている問題は全て他人事ではありません。

ご講演では、学生時代に病気が増えることは社

## 労働環境を 把握する 視点が重要

坂総合病院・SW・  
津波智恵

広瀬俊雄医師

その事例をもとに、病気には社会的要因があり、改善は可能であること、その支援のためには、産業・業種・仕事についての情報を常に得る努力と労働環境を把握する視点が重要だと話されました。

12月4日、フォレスト仙台ホールにて、仙台パワーステーション操業差止訴訟判決報告会

参加20余名含む。判決は前年10月28日(原告敗訴)でしたが、報告会はコロナ禍で延期となっていました。

水戸部秀利原告団副団長のあいさつで開会。基調講演では、平田仁子氏(NPO法人気候ネットワーク理事)が、「気候危機時代・石炭火力を2030年までにゼロにするまで運動を続けよう」

宮城民医連の宮沼弘明会長が、生活や労働

最後に千葉永一副団長から、原告団は解散せず石炭火力の操業を止めさせるまで運動は続けたいとの閉会あいさつがありました。

捉えてはいけなく、そして風化させてはいけなく問題ばかりです。明日は我が身だと思い、流れてくる情報を受け身で聞くだけではなく、自分から調べて、考えていくことが大切であると思いました。

また、2日間の講演、SGDを通して1つの問題をあらゆる方向から考えることの重要性を感じました。職場でも多角的視点から物事を見ることを心掛けて、業務に取り組んでいきたいと思

## 悩みを相談 できる相手を 持つこと

長町病院・SW・  
高橋佑可子

ご講演を聴き、病気の背景にはその人の生活環境や職業が大きく関わっていることが分かりまし

た。そのため、ソーシャルワーカーも患者がどのような環境でどのように生活しているのか、就労の有無などを意識して情報収集することが大切だと学びました。情報収集した内容は発信し、他職種で課題を共有できるようにしたいと感じました。また、ストレスを抱え

ながら働く労働者の数は増え続けており、特に若い世代が多いことも分かりました。現在はコロナウイルスによる様々な制限も加わり、労働者に関わらずストレスを抱えている人はとても多いのではないかと思います。家族や上司、そして産業医など悩みを相談できる相手を持つこと、普段から相手を気にかけるようにすることが必要だと感じました。今回の学びを生かせるよう今後も業務に励んでいきたいです。

訴訟報告として、弁護団事務局長の横田由樹弁護士と長谷川公一原告団団長の裁判の争点、判決の評価、運動の意義と歴史的経過等について、専門家と当事者の視点を合わせて報告しました。各地からは、神戸石炭火発訴訟と横須賀石炭火発訴訟の原告の方が、市民の運動と訴訟の到達を報告しました。

3年余の訴訟支援に加え、運動面で連携して取り組んできた県内の4団体からも報告がありました。

背景重視の医療活動や全国各地の公害での取り組み、SDHに触れながら活動を報告。みやぎ生協の冬木勝仁理事長、あいこーみやぎの鈴木真奈美理事がそれぞれの取り組みを紹介しました。Friday's For Future Sendaiの池澤美月さんは、若者の取り組みと昨

# 産業医学の 取り組みについて学んだ

0年までにゼロに」と題し、COP26のリアルな報告を含めて、お話しいただきました。

平田さんは日本の石炭火力発電所(石炭火発)建設計画の3分の1を中止させた功績で、環境分野のノーベル賞と言われる「ゴールドマン環境賞」を受賞されています。

訴訟報告として、弁護団事務局長の横田由樹弁護士と長谷川公一原告団団長の裁判の争点、判決の評価、運動の意義と歴史的経過等について、専門家と当事者の視点を合わせて報告しました。各地からは、神戸石炭火発訴訟と横須賀石炭火発訴訟の原告の方が、市民の運動と訴訟の到達を報告しました。

最後に千葉永一副団長から、原告団は解散せず石炭火力の操業を止めさせるまで運動は続けたいとの閉会あいさつがありました。

捉えてはいけなく、そして風化させてはいけなく問題ばかりです。明日は我が身だと思い、流れてくる情報を受け身で聞くだけではなく、自分から調べて、考えていくことが大切であると思いました。



報告会の様子

## 健康手帳

2021年は東日本震災から10年となる節目の年だった。宮城県は新たに

2021年～2030年における「新・宮城の将来ビジョン」を発表した。▼その中で県の基本認識として、「ハード面は一部の地域を除いて取り組みが完了し、被災者支援などのソフト面の取り組みは中長期的に、一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな支援が必要。心のケア、コミュニティ再生、産業再生、福島第一原発事故への対応、震災の教訓の伝承等」と記載されているが、具体的な内容についての記載はみられない。▼宮城県は、2020年をもって災害公営住宅の健康調査を打ち切り、各自治体に委ねる形で2021年は実施しなかった。宮城民医連は、2021年は過去最大規模の災害公営住宅健康調査のポスティングを実施した。入居する被災者は10年の歳月を経て更に高齢化し、増加する家賃問題に加え介護の問題なども大きくなってきている。自治体によって



日本平和大会

あきらめず運動を続けることで  
辺野古新基地建設はストップできる

長町病院 事務 吉田 若葉

11日20日土曜日、日本  
平和大会がオンラインで  
開催されました。

午前の全体集会では、  
海外の平和団体などから  
連帯のあいさつなどがあ  
りました。特に印象に残  
ったのは、「グアム・平  
和と正義連合」のモネッ  
カ・フローレンスさんのお  
話でした。グアムでの



平和と正義連合  
グアム：モネッカ・フローレンスさん

米軍による占領状態は先  
住民の権利と人権の侵害  
だというお話があり、沖  
縄と同じだということが  
わかりました。沖縄にい  
た米軍海兵隊の一部のグ  
アムへの移転でグアム住  
民の苦しみが増したとい  
うお話を聞き、基地の移  
転だけでは問題の解決に  
はならないことがよくわ  
かりました。

「辺野古新基地ス  
トップ」名護市長選  
挙勝利に向けた特別  
企画」では、基地建  
設反対運動が、コロ  
ナ禍でも粘り強く続  
けられていることが  
報告されました。埋  
め立て用の土砂の搬  
入が何年も続してい



長町病院会場

で、かならず基地建設は  
ストップできます。年明  
け1月23日に行われる名  
護市長選挙への支援とカ  
ンパの呼びかけがあり、  
立候補を予定している岸  
本洋平名護市議会議員か  
らも決意表明がありまし  
た。

午後は特別集会「大軍  
拡・基地強化・日米軍事  
一体化の現状とたたか  
い」を視聴しました。

軍拡・基地強化、日米  
軍事一体化が急速に進ん  
でいることがわかり、驚  
きました。特に南西諸島  
の基地建設については、  
島が丸ごと基地化してい  
る様子が見て取れ、住民  
の方々の生活が脅かされ  
ていることがわかりまし  
た。また、軍用機の低空  
飛行や夜間のタッチアン  
ドゴーなど危険な軍事訓  
練が常態化し、オスプレ  
イも当初の予定と違っ  
て飛行して緊急着陸  
の回数も増えています。

言葉の裏の真の目的を見、  
包括支援センターから  
発信をしていきたい

南光台地域包括支援センター 保健師 芳賀 明子

しかし、政府は米国に対  
して何も抗議していま  
せん。また、自衛隊の艦船  
から米軍機が飛び立つ訓  
練の映像を見て衝撃を受  
けました。軍事費もどん  
どん増えており、国民の

生活を直撃する事態にな  
っています。  
このように平和憲法を  
ないがしろにする政権  
は、変えなければならま  
せん。せめて改憲を阻止  
しなければこの事態は悪

化すると思います。今後、  
署名の呼びかけなど改憲  
の危険性を伝える運動、  
憲法をまもる国会議員を  
増やすための運動を強め  
ていきたいと思っています。

また、富裕層のための  
制度になってしまいかね  
ます。制度の改悪を許し  
てはならない事を痛感し  
ました。

記念講演では、生活保  
護問題対策全国会議代  
表の尾藤廣喜弁護士か  
ら「コロナ禍での貧困の  
深刻化と格差の拡大」を  
テーマにお話がありまし  
た。未曾有の感染爆発で、  
生活困窮している方が多  
くいるはずなのに、20  
15年をピークに生活保  
護被保護人員は減少の一  
途という事は驚愕でし  
た。一方、自殺者数は増  
加し、関連性は少なから  
ずあるかと思っています。何  
を守るための社会保障な  
のかと考えさせ  
られます。また、  
子どもの自殺も  
増えているとの  
こと。コロナ禍  
で人との交流の  
制限が、子ども  
たちの将来にと  
って、どのよう  
な影響があるの  
か見守ってい

「一億総活躍」等、言  
葉を巧みに遣いながら、  
自己責任論を強めていく  
政府。言葉の裏の真の目  
的を見、包括支援センタ  
ーから発信をしていき  
たいと思います。



11月30日、全日本民  
連第10回地域包括支援セ  
ンター交流会がズームに  
て、約120名の参加で  
行われました。  
高齢化に伴い、全国の  
地域包括支援センター  
(包括)は5221か所  
となり(2年前より18  
0増)、そのうち、民医  
連では、33県連、84か  
所で受託。  
包括は、生活と密接し、  
福祉に関することはもち  
ろろ、地域づくりも担い、  
住民の社会保障や、権利  
を守るべく、幅広い業務  
にあたっています。行政  
の委託業務であり、行政  
の指導と生活実態の乖離  
にシレンマを感じる中、  
県連を超え、現状と課題  
をもとに経験を共有でき  
た事は心強く思います。

次期介護保険制度の見  
直し審議事項に、要介護  
の方でも総合事業へ移す等  
があります。早速、総合  
事業の課題が出されまし  
た。「サービス提供の担  
い手がいない」「受けて  
くれるヘルパー事業所が  
なく、有償ヘルパーを案  
内した」「介護保険での  
ケアプラン料は4千円代  
だが、2千円代となった」  
「総合事業の行政窓口が  
厳しく利用者が激減」「卒  
業を意識したプランを求  
められる」など、サービ  
ス削減を進めている実態  
が明確です。介護保険料  
は、当初2911円だった  
ものが、現在の平均は  
6014円。9800円  
の自治体もあり、保険料  
あつてサービスなし、更  
に、審議事項が通ってし

まうと、富裕層のための  
制度になってしまいかね  
ます。制度の改悪を許し  
てはならない事を痛感し  
ました。  
記念講演では、生活保  
護問題対策全国会議代  
表の尾藤廣喜弁護士か  
ら「コロナ禍での貧困の  
深刻化と格差の拡大」を  
テーマにお話がありまし  
た。未曾有の感染爆発で、  
生活困窮している方が多  
くいるはずなのに、20  
15年をピークに生活保  
護被保護人員は減少の一  
途という事は驚愕でし  
た。一方、自殺者数は増  
加し、関連性は少なから  
ずあるかと思っています。何  
を守るための社会保障な  
のかと考えさせ  
られます。また、  
子どもの自殺も  
増えているとの  
こと。コロナ禍  
で人との交流の  
制限が、子ども  
たちの将来にと  
って、どのよう  
な影響があるの  
か見守ってい

連載 135

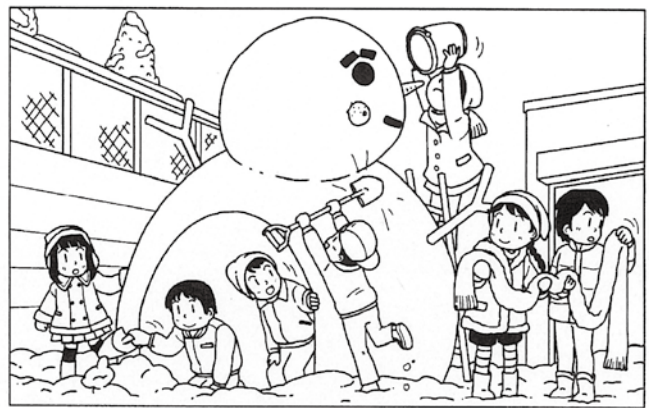
私の好きな憲法は何条?

つばさ薬局長町店  
事務 秋篠 明日香

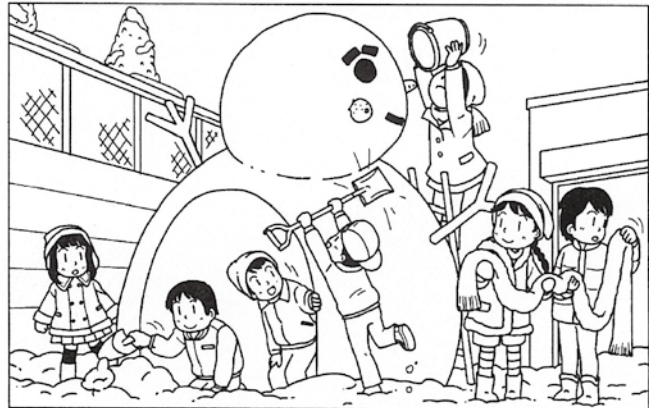
私の好きな憲法は13条  
です。国民は個人として  
尊重されるということを  
示しています。私には  
「あなたはあなたで他の  
誰でもなく、自由に、好  
きに生きていいのです」  
と言っているように聞こ  
え、憲法が「個人」と「自  
由」を保障してくれてい  
るように思うからです。  
11月26日・27日に全国  
ジャンボリーがオンライ  
ンで開催され、「人権」  
をテーマにフォトジャー  
ナリストの安田菜津紀さ  
んの講演を聞き、班で「人

権とはなにか」とグルー  
プディスカッションを行  
いました。安田さんの講  
演では、シリアの人たち  
が、爆撃の被害を受けた  
り、病気やけがで、突然  
命を奪われるという状況  
の中、過酷な生活を送っ  
ている様子を実際の写真  
から学びました。大けが  
をした女の子が「なぜ何  
も悪いことをしていない  
のにこんな目に遭うのだ  
ろう」と言っていた話を  
聞き、個人の好きなよう  
に、自由に生きていく権  
利を戦争が奪っているこ  
とにとっても胸が苦しくな  
りました。日本にいる私  
がのんきに夜ごはんのこ

とを考えると、友人と楽  
しく買い物をしている生  
活は本当に幸せなことな  
のだと改めて実感しまし  
た。いつ死ぬか、いつ戦  
争が終わるのかわからな  
い中、生きていくのはと  
てもつらく、私だったら  
体力的にも精神的にもと  
ても耐えられないでしょ  
う。  
日本でも、個人の自由  
よりも国家などが優先さ  
れ、自分の好きな職業に  
就いたり、好きな人と結  
婚したり、好きなところ  
に住むことが許されなか  
った時代がありました。  
現代は戦争がなく、平和  
に見えますが、差別や偏



7つのマチガイ  
[問題]上の絵と下の絵では  
7つのマチガイがあります!  
どこでしょう? (作・野上和彦)



クイズの解答は  
事業所名、氏名、  
職種を記し県連事  
務局に送って下さ  
い。メールは不可。  
ファックスは可。  
正解者に抽選で5  
人に図書カードを  
進呈いたします。  
余白に日頃考えて  
いる事などを書  
き添えて下さい。  
「声」の欄に掲載  
させていただきます。  
募集締切2月14日  
当日消印有効。発  
表3月1日号。